

# きゅうしゅう

NO.54



写真：筑後川花火大会  
(提供：久留米駐屯地広報班)

## 目次 CONTENTS

1. 部隊紹介：陸上自衛隊 久留米駐屯地
2. 自治体紹介：福岡県 久留米市
3. 業務紹介：別府防衛事務所
4. インフォメーション：護衛艦進水式ほか



写真：久留米森林つつじ公園  
(提供：久留米駐屯地広報班)



## 1. 部隊紹介

# 陸上自衛隊久留米駐屯地

## 駐屯地司令挨拶



西部方面混成団長  
兼ねて久留米駐屯地司令  
1等陸佐 古庄 信二

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様、こんにちは。西部方面混成団長兼ねて久留米駐屯地司令の古庄です。

陸上自衛隊久留米駐屯地は、戦前「軍都久留米」と呼ばれた久留米市に旧陸軍の跡地を受け継ぎ駐屯地が開設され、以来地域の皆さんの温かいご声援をいただきながら発展してきました。

平素は、西部方面混成団隷下の教育部隊が九州・沖縄地区の陸曹や新隊員の教育を担当するとともに、実動部隊が練成訓練を行い抑止力としての練度を維持しています。また、佐賀県及び福岡県筑後地区の災害派遣を担当しており、令和元年の佐賀豪雨においては、武雄市及び大町町で人命救助、流出油の除去支援防疫活動、入浴・給食等の生活支援などを実施し、

昨年7月の豪雨においては、大牟田市で人命救助活動を行いました。

ここ2年ほどは、新型コロナウイルスの感染状況もあり、残念ながら地域の皆様と交流できる駐屯地行事を開催できていませんが、逐次ワクチン接種が進んでいます。再び皆様にお会いできる機会を楽しみにしています。

今後とも地域に信頼される駐屯地となるべく精進してまいります。変わらぬご理解ご支援を賜るよう宜しくお願い申し上げます。

## 久留米駐屯地の歴史

### 昭和初期の駐屯地正門



久留米駐屯地は、明治30年、歩兵第48聯隊の駐屯地として創設され、その後、駐屯する各部隊は日露戦争から太平洋戦争までの間、多くの戦闘に参加し、ビルマ方面における第18師団（菊兵团）のフーコン溪谷での持久戦は特に有名な戦いになっております。昭和27年、警察予備隊特科64連隊が長崎県針尾から移駐し、昭和29年に自衛隊へと改編、それに伴い特科64連隊も第4特科連隊へと改称されました。平成30年に長崎県相浦駐屯地から西部方面混成団が移駐し、平成31年には第4特科連隊が66年の歴史に幕を閉じ改編され、現在は幹部候補生学校と併せて陸上自衛隊の教育の「メッカ」となっています。

## 久留米駐屯地シンボルマーク

久留米駐屯地のシンボルマークを紹介します。

中央に輝く菊とそれを取り巻く龍は、国軍最強と言われた「菊兵团」と「龍兵团」を表し、緑色の山は久留米市の山「高良山」を、青色は筑後平野を流れる雄大な「筑後川」をイメージしています。赤い花は久留米市の花「久留米つつじ」を模しています。





更なる高みへ  
教育・訓練



西部方面特科連隊第4大隊



第4高射特科大隊



第5陸曹教育隊



第118教育大隊

～令和元年8月の前線に伴う大雨に係る災害派遣活動(武雄市・大町町)～



人命救助



流出油の除去



廃棄物の除去支援

災害派遣活動

～令和2年7月豪雨に係る災害派遣活動(大牟田市)～



孤立した避難所からの救助



人命救助後の人員輸送

～久留米駐屯地主要行事～



創立記念行事



夏祭り行事

～地域のイベント支援～



水の祭典くるめ祭支援



佐賀バルーンフェスタ支援

～久留米駐屯地SNSのご紹介～

駐屯地の情報や隊員の活動状況などを随時発信しています！以下にアクセスしていただきご覧ください。





## 2. 自治体紹介 (福岡県久留米市)



水と緑の人間都市  
**久留米市**  
Kurume City

### 市長あいさつ

久留米市は、九州北部、福岡県南西部に位置し、福岡県第3位の人口約30万人を有する中核都市です。

九州一の大河「筑後川」の恵みに育まれた豊かな自然に抱かれ、江戸時代には久留米有馬藩21万石の城下町として栄えました。また、近代以降は久留米餅からゴム産業、バイオ産業の都市へとその表情を変えながら福岡県南地域の中心地として発展してきました。

九州の交通の要衝として都市機能が充実しているほか、豊かな自然、全国トップクラスの医療環境、自慢のグルメ、多彩な文化芸術など、様々な地域資源に恵まれた魅力あふれるまちです。

ぜひ久留米市にお越しください。



久留米市長 大久保 勉



### 基地とのかかわり

本市には、日本唯一の陸上自衛隊幹部候補生学校、航空自衛隊高良台分屯基地、陸上自衛隊久留米駐屯地が所在し、多くの隊員の方が任務に就かれています。平時においては、「水の祭典」や「筑後川花火大会」「駐屯地一般開放」「音楽隊による定期演奏会の実施」など、様々な行事を通じて、市民との交流を深められています。

また、総合防災訓練など災害時の相互協力体制の強化を図っており、近年の度重なる災害時の復旧支援活動にご尽力いただいたほか、地域の安全安心の確保に努めていただくなど、久留米市にとって大変重要な存在です。



# 今から遡ること400年、 この久留米の地で



令和3年は、久留米藩初代藩主「有馬豊氏」が久留米に入城してから400年の節目です。



明治時代の久留米城（久留米市教育委員会 蔵）

とようじ  
豊氏は、北筑後21万石の藩主として、1621年に丹波福知山（現：京都府福知山市）から久留米城に入城しました。久留米城と城下町の整備工事は、藩主4代、約80年にわたる大事業となり、城の南に広がる城下町を中心に、21万石にふさわしい大都市を展開しました。有馬家は江戸時代を通しておよそ250年間、11代にわたり久留米藩を治め、城下町の整備や産業の奨励など、現在の久留米の礎を築きました。

久留米市では、この節目の年を、これまでの400年を振り返り、次の100年に向かう機会ととらえ、企画展の実施や地元事業者と連携した記念商品、飲食メニューの提供など、多彩な企画を行っています。

久留米入城400年  
特設ページはこちら



## 久留米市のふるさと納税

お米やあまおうなどの農産物、久留米餅やゴム産業などのものづくり、豊かな水源とおいしいお米でつくる上質なお酒など、たくさんある返礼品の中から2つをピックアップして紹介します。



### 久留米ほとめき詰合せ

「ほとめき」とは、筑後地方の方言で「おもてなし」の意味です。

おもてなしの気持ちを線香に込めています。

地元久留米産のバニラを配合した香りや久留米つばき<sup>まさよし</sup>「正義」をイメージした香り、フルーツの桃の香り、石橋文化センターに咲き誇る薔薇の香りの詰合せです。陶器の香立て付きとなっています。

### 大砲ラーメン 生ラーメンセット

「とんこつラーメン発祥の地、久留米」。昭和28年の創業以来、一度も釜を空にすることなく継ぎ足し仕込みで炊き続ける伝統の「呼び戻しスープ」は、今もなお熟練の職人たちによって頑なに守り継がれています。

コロナ禍での外食等がままならない中ですが、屋台から漂う「とんこつ」のにおいを思い起こしていただき、ご家庭でもお店の本物の味をご賞味ください。



本場九州久留米の味

お店の味を  
そのままご家庭で



この他にも、ふるさとの魅力を詰め込んだ特産品をお礼の品としてご用意しています。ぜひ、ふるさと納税特設サイトからお申し込みください。





### 3. 業務紹介

## 別府防衛事務所



別府防衛事務所は、別府市の中心部に位置し、市民の憩いの場である別府公園に隣接しています。別府公園は第二次大戦後、米軍キャンプや陸上自衛隊別府駐屯地として使用されてきましたが、昭和53年に同駐屯地が別府市鶴見に移転した後に都市公園として整備され、今では咲き誇る花々や広大な松林の中を多くの市民が散策やジョギングなどに利用しています。

このような好立地にある当事務所は、九州防衛局の出先機関として大分県を管轄しており、管内には西日本最大の演習場である日出生台演習場をはじめとした、駐屯地や弾薬庫など28の防衛施設が所在しています。

当事務所では、これら防衛施設に係る関係自治体等との連絡・交渉業務に関する調査及び資料の収集等の業務を行っており、コロナ禍の難しい状況下ではありますが、現場第一主義をモットーに少数精鋭で頑張っています。

#### ～主な業務～

●自衛隊施設の円滑な運用、各種訓練の実施のための関係自治体及び地域住民等との連絡調整及び交渉に係る業務支援

●自衛隊施設での建設工事における施設発生物品（既存施設の取り壊し等で発生する金属）の検収



●関係自治体等への防衛白書説明、防衛問題セミナーの案内等の地方協力確保事務の支援

●演習場周辺財産の管理



大雨の後の見回り



## 4. インフォメーション

### 平成30年度計画護衛艦1番艦 命名・進水式 艦名「もがみ」

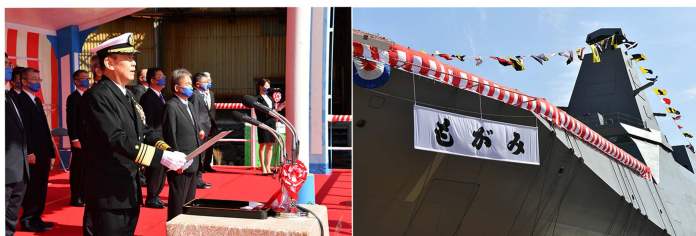
令和3年3月3日(水)、長崎県長崎市に所在する三菱重工業株式会社長崎造船所において、平成30年度計画護衛艦1番艦の命名・進水式が執り行われました。

1番艦は、搭載を予定していたガスタービン主機の損傷等により工事進捗に遅れが生じたため、三井E&S造船玉野艦船工場で建造中の2番艦「くまの」の命名・進水式から約3ヶ月遅れての式典となりましたが、式典当日は晴天に恵まれ、出口佐世保地方総監、三原長崎防衛支局長、支局員そして三菱重工業株式会社の関係者が見守る中、粛々と行われました。

命名式では、佐世保音楽隊による国家吹奏に引き続き、防衛省代表の出口佐世保地方総監が命名書を読み上げ、「もがみ」と命名されました。「もがみ」は山形県を流れる一級河川の最上川に由来しています。また、この艦名は、旧海軍の通報艦「最上」、最上型巡洋艦「最上」及び海上自衛隊のいすず型護衛艦2番艦「もがみ」に続き4代目になり、初代「最上」及びいすず型護衛艦「もがみ」も同造船所で建造されております。

命名式に引き続き、立神艦船製造部長の進水準備完了の合図により、出口佐世保地方総監が斧を振り下ろし、支綱の切断を行いました。くす玉が割れ佐世保音楽隊が奏でる軍艦マーチのなか、艦番号1「もがみ」は船台からゆっくりと海に向け移動し、進水しました。

「もがみ」は令和4年4月頃就役予定であり、これから就役に向けた本格的な装工事及び海上での確認運転等が計画されています。九州防衛局長崎防衛支局では引き続き、監督・検査に万全を期して参ります。



▲自衛艦命名式（出口佐世保地方総監から「もがみ」と命名）



▲進水式（護衛艦「もがみ」が船台から海に移動し進水）



## 「えびの市永山運動公園」 がリニューアルオープン

宮崎県えびの市において、避難施設及び公園としての機能を備えた「えびの市永山運動公園」の改修工事が完了し、令和3年4月30日（金）に式典が行われ、廣瀬隼子九州防衛局長が来賓として出席しました。

式典では、村岡隆明えびの市長が式辞の中で「平成4年度に防衛省の補助を活用し永山運動公園の整備を行ったが、老朽化によるさまざまな課題が表面化しており、今回も防衛省の補助を活用し改修を行った。リニューアルした当施設を多くの市民の皆様に利用していただきたい。」と述べるとともに関係者に謝意を表しました。

次に、廣瀬九州防衛局長が、「今般、霧島演習場周辺の民生安定に寄与する施設として永山運動公園の整備に係る補助をさせていただいたところ、地域の皆様が利用される開かれた憩いの場の整備に微力ながら貢献できたことは大変喜ばしいことです。」との祝辞を述べました。

当該施設は、面積3.8haあり、芝生グラウンド、テニスコート及び遊具施設が設けられており、災害時には避難場所として指定されています。

九州防衛局は、本事業に関し、防衛施設周辺民生安定施設整備事業（改修工事（公園））として、約96百万円の補助金（総事業費の3分の2）を支援させていただいています。



▲遊具施設



▲テニスコート



▲式典でのテープカットの風景



## 日米仏共同訓練の支援について

令和3年5月11日～5月16日にかけて日米仏共同訓練（ARC21）が、九州西方海空域、相浦駐屯地、霧島演習場、鹿屋航空基地を使用し実施されました。

この訓練は米軍・仏軍との連携強化を図るとともに、陸上自衛隊及び海上自衛隊の戦術技量の向上を図るものです。

九州防衛局管内においては、相浦駐屯地で図上演習や基礎的な戦闘訓練を、霧島演習場ではヘリボン訓練や市街地戦闘訓練を実施しました。また、同訓練に参加する米海兵隊所属航空機MV-22オスプレイの整備拠点として鹿屋航空基地を使用しました。

同訓練の実施に当たり、九州防衛局は5月10日～5月17日の間、職員を派遣し、九州防衛局現地連絡所を相浦駐屯地、霧島演習場、鹿屋航空基地にそれぞれ開設し、関係自治体等に訓練の情報提供などを行いました。

九州防衛局としては、訓練の実施に当たっては、地元自治体、周辺住民の方々の御理解と御協力が不可欠であると考えており、今後とも地元自治体、周辺住民の方々の不安や懸念を解消すべく、誠心誠意努力してまいります。



▲現地連絡所の様子



▲図上演習（相浦駐屯地）



▲ヘリボン訓練（霧島演習場）



▲市街地戦闘訓練（霧島演習場）

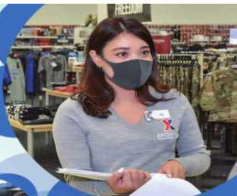


# 在日米軍従業員募集

日本の  「アメリカ」で  
働きませんか!

「エルモ」が応援! あなたの就活!

独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構「エルモ」では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。



興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。どうか、下記の支部にお問い合わせください。

## 【Twitter 開設】

令和3年4月より、求人情報等の募集関連情報を定期的に発信いたします。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報 (エルモ)」

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。

## 【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ佐世保支部管理課管理係

住所: 〒857-0056 長崎県佐世保市平瀬町3-1

電話: 0956-23-7191

担当施設: 佐世保海軍施設、横瀬貯油所、針尾住宅地区等

<https://www.lmo.go.jp>

LMO

求人情報



※求人情報提供  
メールサービス



九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

### 夜間及び休日の連絡先

電話: (092)483-8832 FAX: (092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、  
休日は終日。